



## NEWS 「YAMANASHI SDGs FORUM 2023」を開催

県は「SDGsの取り組みを通じてのNEXT山梨への挑戦」をテーマに、「YAMANASHI SDGs FORUM 2023」を2月に開催しました。会場には60を超える県内企業や自治体がブースを出展。参加団体は、取り組んでいるSDGs(持続可能な開発目標)を紹介したり、訪れた方の質問に答えたりしていました。

また、慶應義塾大学大学院教授の岸博幸さん、クリエイティブディレクターの辻愛沙子さん、社会学者の古市憲寿さんをゲストに迎え、シンポジウムも行われました。岸さんと古市さんによるトークセッションのほか、辻さんが県内大学生と「若者が期待するSDGsとは」をテーマに語り合いました。シンポジウムには長崎知事も出席。パワー・ツー・ガス(P2G)システムや4パーミル・イニシアチブ、少人数学級、豊かさ共創といった県が取り組むSDGsを紹介し、岸さん、辻さん、古市さんと意見交換をしました。長崎知事は「『誰一人取り残さない山梨県』の実現に向けて、目標を高く設定し果敢にトライしていく。今日のイベントが、そのきっかけになれば」とあいさつしました。



多くの県民がSDGsを考える機会となった



語り合う県内大学生と辻さん



SDGsの取り組みを熱心に聞く来場者

## NEWS 「県民一人ひとりが豊かさを実感できる開の国」の実現に向け、富士通株式会社と包括連携協定を締結

県は2月、地域活性化、医療・健康、防災・減災などの幅広い分野において、最先端テクノロジーを活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)により地域課題の発見、解決を推進するため、富士通株式会社と包括連携協定を締結しました。

DXをけん引する人材の育成、ワーケーションによる地域活性化、電子版かかりつけ連携手帳を軸とした取り組みの推進、防災・減災へのDXの活用、脱炭素社会への挑戦、男女共同参画・共生社会の推進、富士五湖自然首都圏の実現、デジタル田園都市国家構想の推進などの項目で連携し、協力していきます。県はこうした幅広い分野でDXを用いて地域課題を解決することにより、県民サービスの質の向上や地域活性化を目指していきます。



県庁で行われた協定締結式

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

## NEWS 「知事・教育長と語る会」が行われました

公立小中学校の児童・生徒でつくる県児童・生徒連絡協議会の代表者が2月に県庁を訪問し「知事・教育長と語る会」に出席しました。

県内8地区の代表16人が、昨年度の活動内容を長崎知事、手島教育長に報告。御坂中学校の生徒会長、矢野晏士<sup>あんじ</sup>さんは笛吹地区の各校でアフリカ飢餓救援活動やウクライナ募金活動などに取り組んだことを紹介し「世界で起きている問題に目を向け、平和や人権を守ることの大切さについて考える機会となった」と話しました。

長崎知事は「アフリカの飢餓やウクライナ問題、SDGsなどに幅広く目を向け、問題意識を持って実践することに価値がある。それぞれの希望や夢にチャレンジし、勉強や友達との遊びなど有意義な時間を過ごしてほしい。県も皆さんが可能性を追求し、力を発揮できるようお手伝いしていく」とあいさつしました。



昨年度の活動内容を報告する児童・生徒

## NEWS 県民の口腔の健康づくりを推進

県と県歯科医師会、サンスター株式会社は2月「<sup>こうくう</sup>県民の口腔の健康づくりに関する連携協定」を締結しました。協定では、口の機能が衰えるオーラルフレイルの予防、災害時の口腔衛生の確保に関する啓発、県民の歯科口腔保健の向上などで連携し、健康づくりを進めることとしています。

締結式で長崎知事は「歯と口の健康は、全身の健康に重要な役割を果たしているといわれている。この協定を機に、超高齢社会に対応するオーラルフレイル対策などの取り組みが一層進み、県民の健康寿命のさらなる延伸につながると期待している」と述べました。



協定書を掲げる出席者。左から三森県歯科医師会長、長崎知事、柴田サンスター株式会社代表取締役

## NEWS 水素・燃料電池技術を核にインドとの交流を促進

シビ・ジョージ駐日インド特命全権大使が2月に来県し、太陽光発電などの再生可能エネルギーと水からグリーン水素を製造する、米倉山(甲府市)のP2Gシステムなどを視察しました。インドのハリヤナ州では、自動車メーカー「マルチ・スズキ」の工場へのP2Gシステム導入に向けた調査を行っており、2026年度からの運転開始を目指しています。

視察後に大使らは、長崎知事を表敬訪問しました。長崎知事は「インドでのP2Gシステムの社会実装は、再生可能エネルギーの効率的な利用とCO<sub>2</sub>の削減を進めるもので、世界から注目を集めると期待している。水素・燃料電池技術を核に、幅広い分野でインドとの交流、連携を深めていきたい」とあいさつしました。



シビ・ジョージ駐日インド特命全権大使と長崎知事

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。